

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	動物愛護啓発事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康部保健所	部	動物指導センター	課 評価責任者(課長名)
					11-240
					木村

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	生活環境の充実と地域社会活動の推進	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	動物の愛護及び管理に関する法律 大阪府動物の愛護及び管理に関する条例 堺市動物の愛護及び管理に関する条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止するため、動物の愛護及び管理に関する法律で動物の管理に関する事項を定めている。世間でペット動物を人生の伴侶として考える気風が強まり、生命の尊重を重視する考え方が同法にも強く反映されるようになってきた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (動物指導センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市民 堺市内動物取扱業者		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	動物の愛護及び管理に関する法律・大阪府動物の愛護及び管理に関する条例・堺市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、飼育者を含む市民及び動物取扱業者を対象として、適正飼養に関する指導や啓発を行い、人と動物の共生できる社会の構築を目指す。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・飼い犬・飼い猫の引取り ・所有者不明の犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容 ・動物の適正飼養の普及・啓発(犬以外の飼育動物の苦情、犬猫譲渡登録制度と収容犬猫の譲渡 飼い犬の適正飼養講習会 猫の適正飼養講習会 飼い猫の不妊手術助成 地域猫活動への支援) ・動物取扱業の登録・届出及び特定動物の飼養・保管許可 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()		
10	直接実施以外の主な支出先	補助金:不妊手術を実施した猫の飼い主、地域猫活動を行おうとするグループの代表者 負担金:全国動物管理関係事業所協議会			

Ⅲ. 投入量

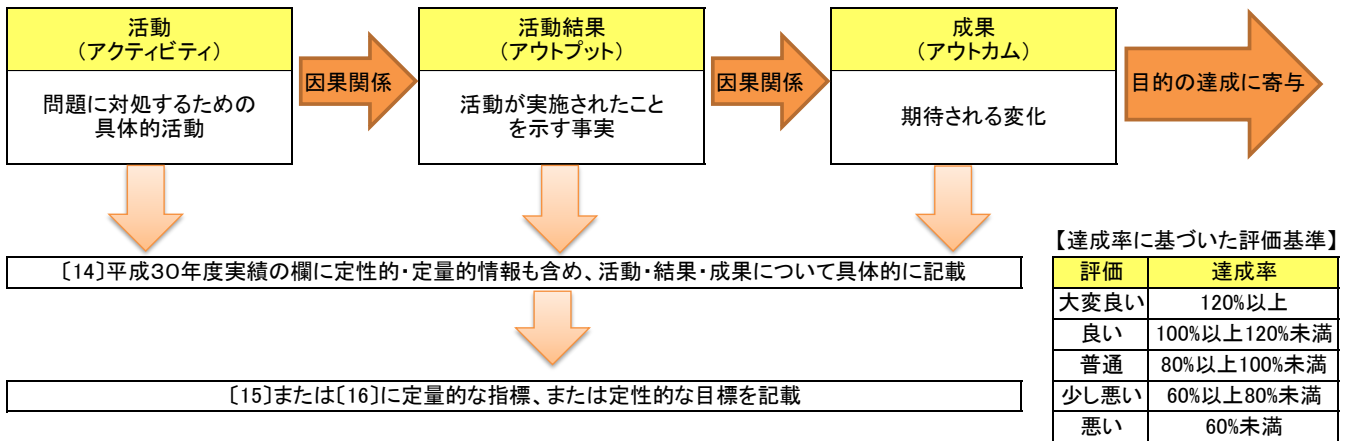
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	6,527	6,173	5,614	5,605	
	主な事業費内訳	消耗品費(餌、医薬品、検査薬等)	千円	2,507	2,856	2,455	1,873
		役務費(通信運搬費、手数料等)	千円	441	237	215	466
		猫の屋内飼育を啓発するための避妊去勢手術助成金	千円	1,200	1,200	1,200	900
		地域猫活動を支援するための避妊去勢手術助成金	千円	704	634	833	1,440
		国・府支出金	千円	209	205	206	200
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	312	229	193	236
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	6,006	5,739	5,215	5,169
	12	人件費 (b)	千円	45,920	52,480	49,660	49,140
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	52,447	58,653	55,274	54,745	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	動物愛護啓発事業	シート番号	11-240
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>平成30年度における飼い犬の引取りは9頭、飼い猫引取りは32頭でした。また、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、市内の公共の場所における所有者不明の傷病動物の収容を実施しています。うち治療が必要なものはセンターで応急処置を行います。平成30年度は犬が2頭、猫が33頭でした。</p> <p>平成13年5月1日から、センターに収容された譲渡可能な犬猫を常時譲渡できるように、「堺市犬猫譲渡登録制度」をはじめました。平成30年度は犬は11頭、猫は23頭譲渡いたしました。また、平成30年度の返還譲渡率は犬が95.2%、猫が17.9%でした。</p> <p>市民からの飼育動物(飼い犬、飼い猫等)に関する苦情相談について対応しています。平成30年度の飼育動物苦情処理件数は、犬に関するもの66件、猫に関するもの81件、その他の飼育動物に関するものは0件でした。</p> <p>平成21年度から猫の屋内飼育を推進し、適正飼育を啓発するため、飼い猫の不妊去勢手術費用の一部助成を行っています。平成30年度は1頭あたり3,000円、400頭への助成を行いました。また、地域猫活動を支援する事業を平成25年度から所有者のいない猫(いわゆる野良猫)対策として地域猫活動ガイドブックを作成し、活動を実施する団体(グループ)に対して、野良猫の不妊去勢手術費用の一部助成を開始しました(1団体あたり15頭まで、1頭あたり8,000円上限)。平成30年度は、9団体から申請があり、総数108頭分の助成を実施しました。</p> <p>犬の飼い主に対し、基本的なしつけの方法、適正な飼い方を啓発するために、しつけインストラクターによる講義・飼い犬と一緒にの実技講習からなる飼い犬しつけ方教室を3回及び適正飼育講習会を1回実施しました。また、堺市獣医師会開業獣医師による猫の適正飼育講習会を1回実施しました。</p> <p>動物取扱業登録に関する業務として動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物取扱業を行おうとする者について事業所【H30末現在342事業所】と業種ごとに登録させ、施設の確認を行い、遵守事項について指導しています。また、事業所ごとに動物取扱責任者を設置する必要があり、第一種動物取扱責任者に対して行政が実施する研修を年1回以上受講させる義務があり、平成30年度は市内取扱業者を対象に動物取扱責任者研修を年4回実施しました。また、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物の飼養または保管を行おうとする者について、特定動物の種類ごとに、許可しています。</p>							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		犬返還譲渡率	%	目標値	60	62	64	66
				実績値	60	73	63	
				達成率	100%	118%	98%	
	評価			良い	良い	普通		
	算出方法・設定根拠など		(収容犬返還頭数+収容犬譲渡頭数)÷収容犬頭数 × 100					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		猫返還譲渡率	%	目標値	14	20	26	28
				実績値	26	21	18	
				達成率	186%	105%	69%	
	評価			大変良い	良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		(収容猫返還頭数+収容猫譲渡頭数)÷収容猫頭数 × 100					

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>犬譲渡返還率については、事前相談時の飼い主への助言等による飼い主引取の削減や適正譲渡の推進等によって目標値以上を達成することができた。</p> <p>一方、猫返還譲渡率については飼い主からの引取件数が急増(H29年度0件⇒H30年度32件)した影響もあり、前年度実績からやや低下した。地域猫活動を支援する事業については地域猫活動に関する啓発等により、9グループ108頭と前年度(7グループ81頭)から増となった。飼い犬しつけ方教室については34組の参加があり、前年度(29組)から増であった。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。